

財政収支(1-3月)

(1) 1-3月の歳入は前年同期比31.9%増、税収は同38.6%増。歳出は前年同期比82.7%増。
 (2) 結果として1-3月の財政収支は2,500.25億リラの赤字(前年同期比911.5%増)、プライマリーバランスは1,493.67億リラの赤字(同229.2%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2022年1-3月(A)	2023年1-3月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	6,025.24	7,947.28	31.9%
税収	4,551.57	6,310.36	38.6%
所得税	687.46	1,171.73	70.4%
法人税	1,028.67	152.65	▲85.2%
付加価値税(国内及び輸入)	1,491.38	2,383.60	59.8%
特別消費税	658.35	1,352.75	105.5%
その他税収	685.71	1,249.63	82.2%
税外収入等	14.74	16.37	11.1%
歳出(b)	5,717.15	10,447.53	82.7%
人件費	1,304.20	2,745.57	110.5%
物品及びサービスの購入	304.64	707.94	132.4%
経常移転	2,239.99	4,647.59	107.5%
資本支出	163.55	494.97	202.6%
支払利子(c)	848.39	1,006.58	18.6%
その他歳出	856.38	844.88	▲1.3%
財政収支(a-b)	308.09	▲2,500.25	▲911.5%
基礎的財政収支(a-(b-c))	1,156.48	▲1,493.67	▲229.2%

経常収支(2023年1-2月)

(1) 2023年1-2月の経常収支は、188.03億ドルの赤字(前年同期は121.92億ドルの赤字)。
 (2) 2023年1-2月の貿易収支(物品)は228.60億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は41.06億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

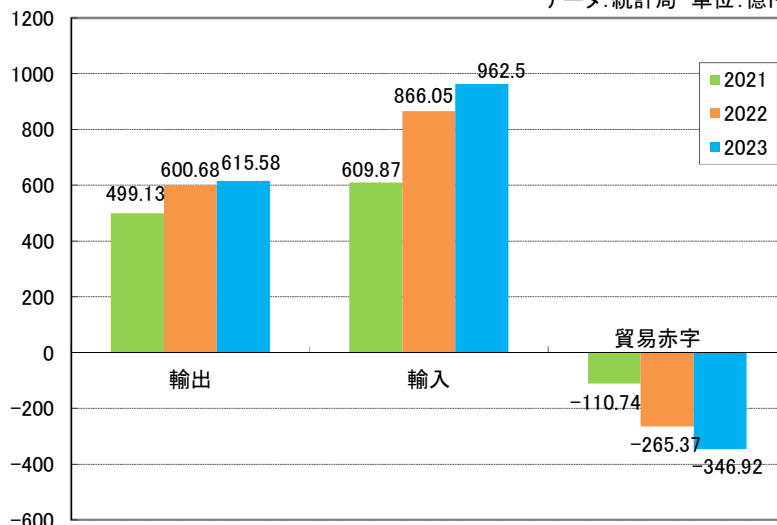
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2022年1-2月(A)	2023年1-2月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲121.92	▲188.03	▲54.2%
貿易収支(物品)	▲148.39	▲228.60	▲54.1%
サービス収支	38.69	53.64	38.6%
旅行収支	32.98	41.06	24.5%
第1次所得収支	▲10.22	▲12.05	▲17.9%
第2次所得収支	▲2.00	▲1.02	49.0%
労働者送金	0.56	0.22	▲60.7%
資本移転等収支	▲0.01	▲0.40	-
金融収支	▲82.91	▲178.42	▲115.2%
直接投資	▲4.63	▲6.45	▲39.3%
証券投資	18.42	▲7.30	▲139.6%
その他投資	▲65.10	▲24.49	62.4%
外貨準備	▲31.60	▲140.18	▲343.6%
誤差脱漏	39.02	10.01	▲74.3%

貿易収支(1-3月)

(1) 1-3月の輸出額は615.58億ドル(前年同期比2.48%増)、輸入額は962.5億ドル(同11.14%増)となり、この結果、貿易収支は346.92億ドルの赤字(同30.73%赤字幅拡大)となった。
 (2) 1-3月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は42.1%(前年同期は42.8%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は26.8%(前年同期は25.5%)となっている。

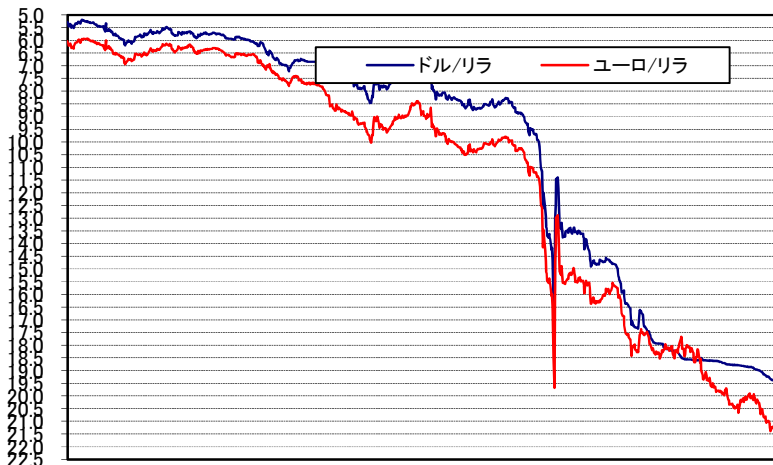
データ:統計局 単位:億ドル



為替(4月)

経常収支の悪化の要因から対ドル史上最安値を更新。月末は1ドル＝19.42リラ(前月末比1.4%安)、1ユーロ＝21.36リラ(同2.5%安)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ

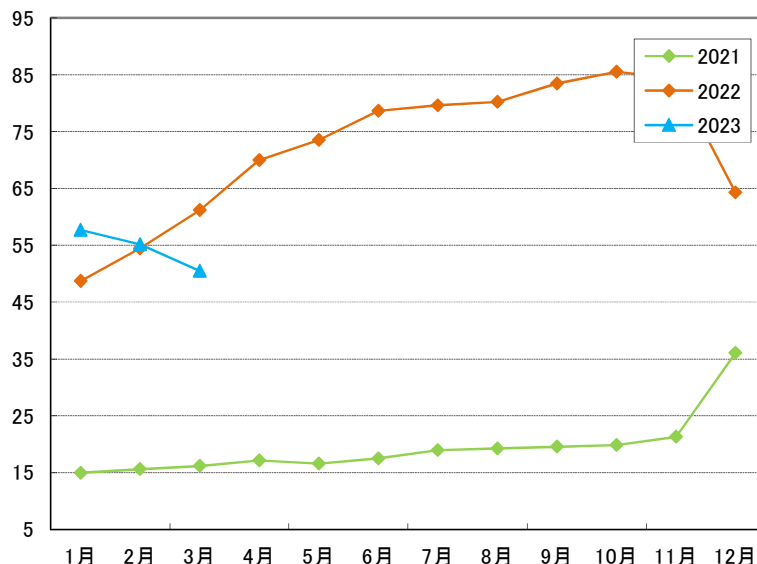


19/1 19/4 19/7 19/10 20/1 20/4 20/7 20/10 21/1 21/4 21/7 21/10 22/1 22/4 22/7 22/10 23/1 23/4

消費者物価上昇率(3月)

- (1)3月の消費者物価は前年同月比50.51%増、前月比2.29%増。
- (2)項目別にみると、前年同月比70.73%でホテル・飲食店が、前月比6.3%で教育が最も上昇した。
- (3)2023年末のインフレ率の中銀目標(1/26時点)は前年同月比22.3%。
- (4)国内生産者物価指数は前年同月比62.45%増、前月比0.44%増となった。

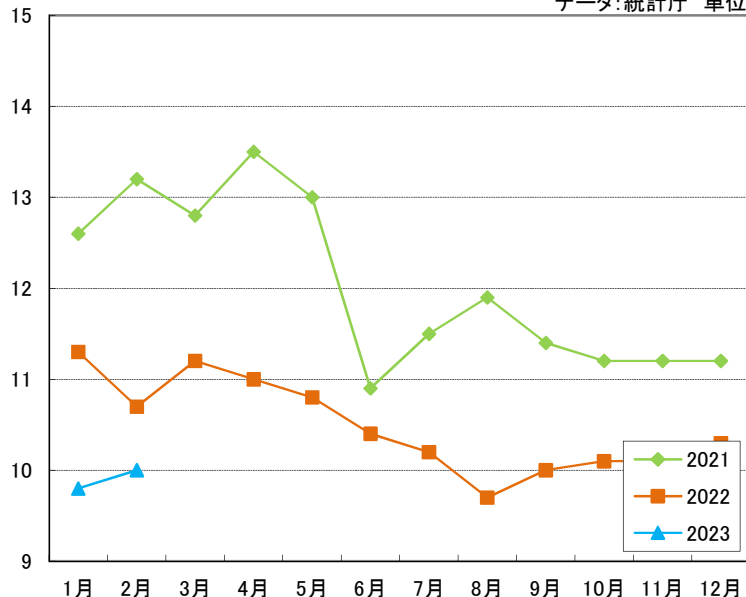
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(2月)

- (1)2月の失業率(季節調整後)は10.0%となり、前月から0.2ポイント上昇した。
- (2)労働力人口は3,497.5万人、就労者数は3,146.0万人、失業者数は351.4万人。
- (3)男性の失業率は8.7%、女性は12.6%。若年層(15-24歳)の失業率は19.2%となっている。

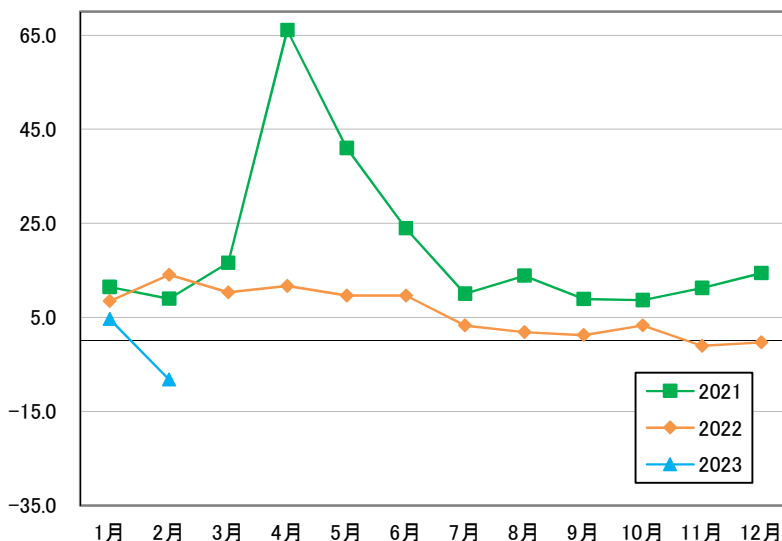
データ:統計庁 単位:%



鉱工業生産(2月)

(1)2月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)8.2%減。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比4.0%減、資本財が同4.5%増、中間財が同14.2%減となった。

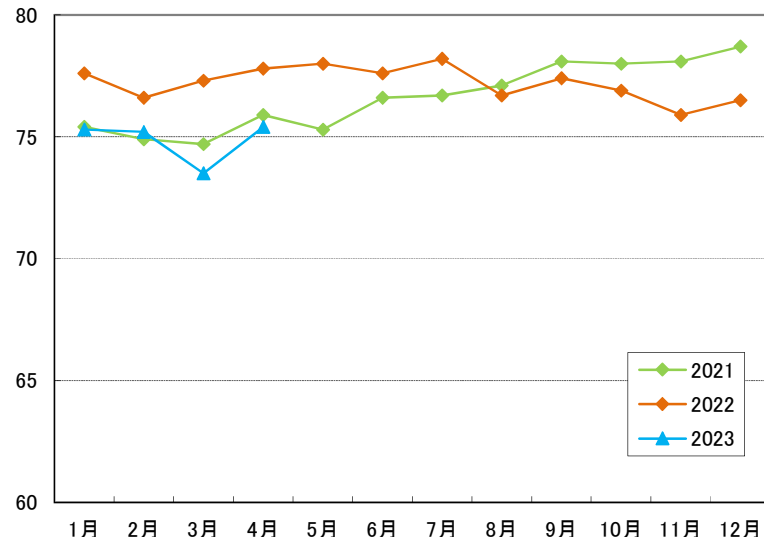
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(4月)

(1)4月の設備稼働率は75.4%となり、前年同月から2.4ポイント減少し、前月から1.9ポイント減少。
 (2)製造業の分野別では、コンピュータ、電子製品、光学製品製造業(82.8%)が最も稼働率が高く、織物製造業(67.2%)が最も低い稼働率であった。

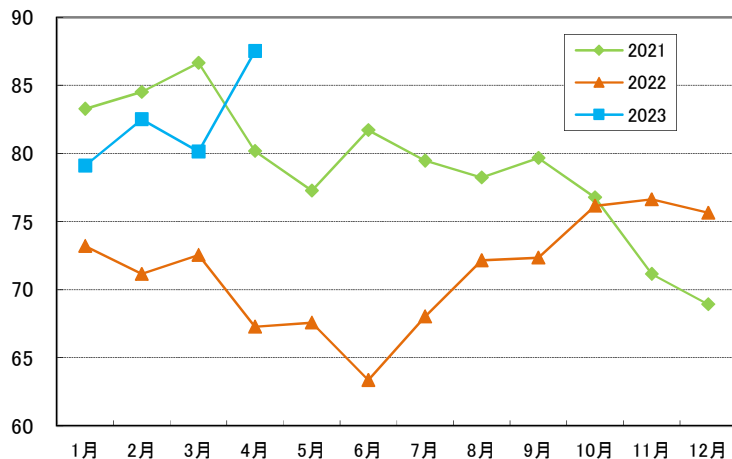
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(4月)

(1)4月の消費者信頼感指数(季節調整値)は87.5ポイントで、前月から7.4ポイント上昇。
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇した。

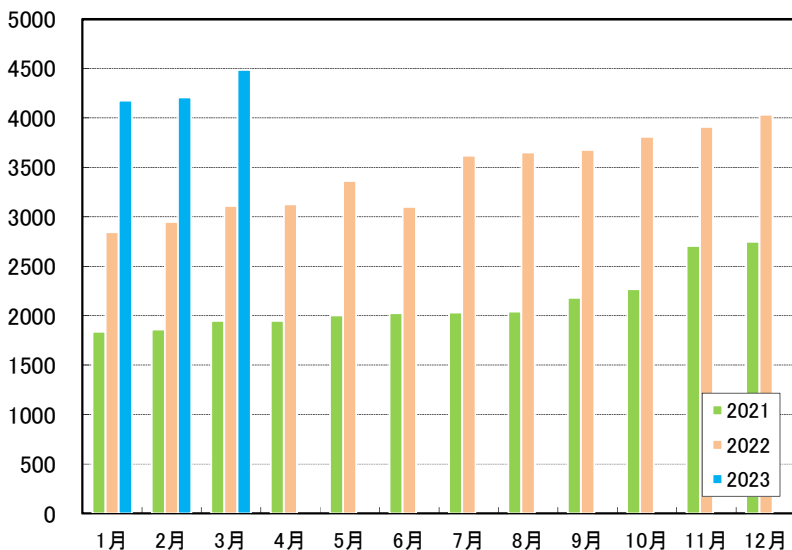
データ:統計庁 単位:ポイント



中央政府債務残高(3月)

(1)3月末時点での中央政府債務残高は4兆4,862億リラとなり、前年同月比44.3%増、前月比6.5%増となった。
 (2)また、国内債務比率は49.8%、自国通貨債務比率は37.6%(2022年末は34.5%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.9%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

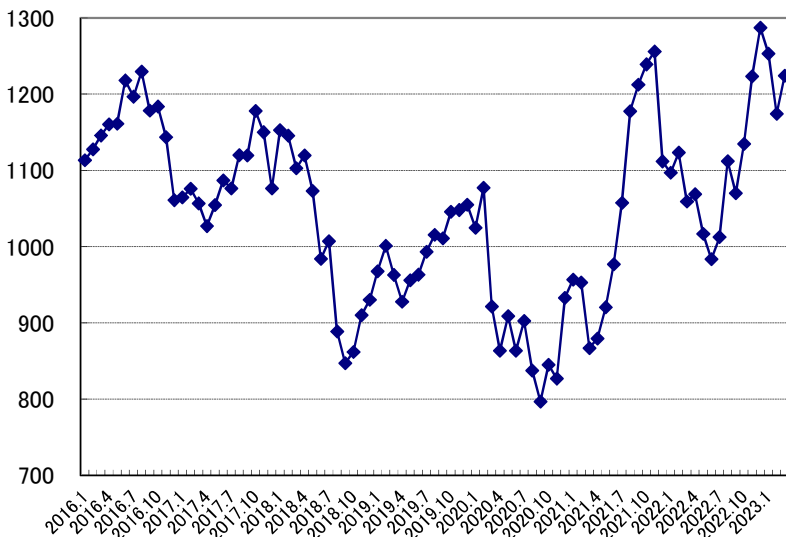
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(3月)

(1)3月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,224.16億ドルとなった。
 (2)前月から50.10億ドル増加した。

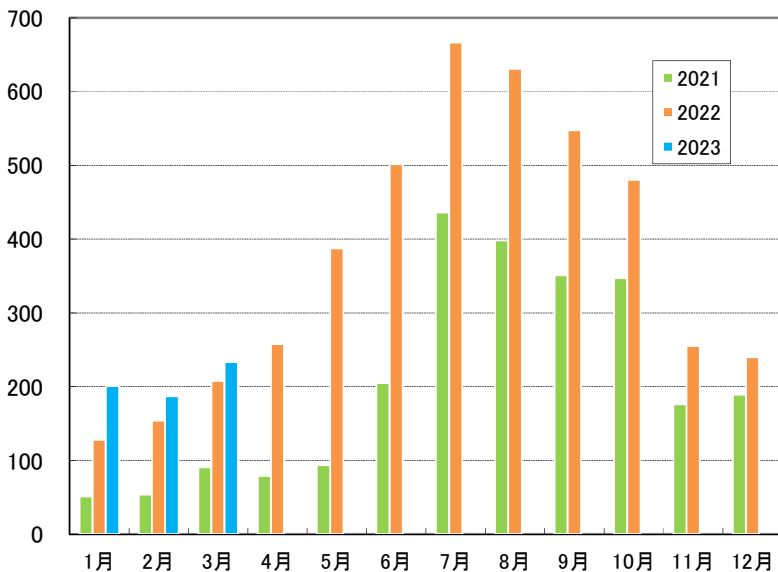
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(3月)

(1)3月の外国人訪問者数は2,335,728人で、前年同月比12.32%増。日本は4,431人であった(前年同月は1,235人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、265,168人で全体の11.35%を占め、以下、イラン(245,991人)、ドイツ(216,723人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

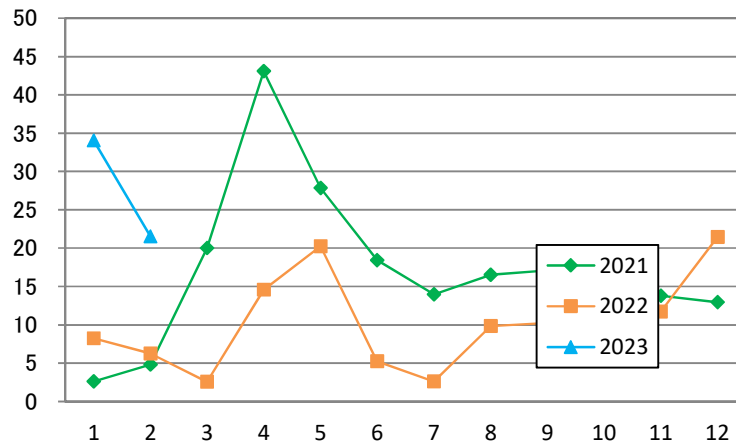


小売売上高(1月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)2月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)21.5%増、前月比(季節及び日数調整後)6.5%減。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比24.3%増、繊維・衣料が同10.7%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同45.8%増となった。

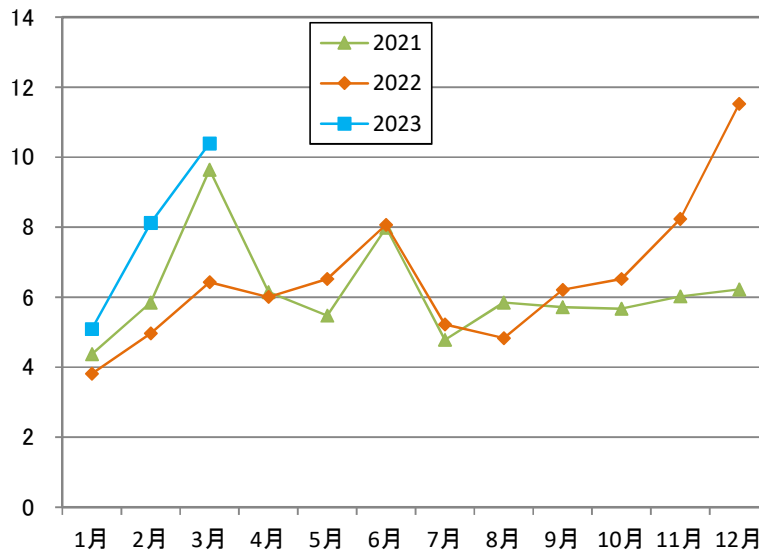


新車販売台数(3月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)3月の新車販売台数は103,929台で前年同月比61.71%増。

(2)3月の内訳は乗用車が79,226台(前年同月比57.9%増)、小型商用車が24,703台(同75.3%増)となった。



住宅販売戸数(3月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)3月の住宅販売戸数は105,476戸で前年同月比21.39%減となった。

(2)3月は新築が32,899戸(前年同月比14.2%減)、中古が72,577戸(同24.3%減)。

(3)3月の住宅ローンでの購入は25,262戸(前年同月比16.5%減)、その他が80,214戸(同22.8%減)。

